

2/9 いざ全国大会へ！ スキー2選手が表敬訪問

第61回全日本スキー技術選手権大会に出場する木村亮太さんと奈須川瑞希さんが、下道町長を表敬訪問しました。2人は洞爺湖スキー連盟に所属する「基礎スキー」の選手で、揃って予選を勝ち抜き、初の全国切符を獲得しました。木村さんは「悔いが無いよう楽しみたいです」、奈須川さんは「予選で戦った選手たちとまた会えるのが楽しみです」と大舞台にかける意気込みを語りました。



全国大会に挑む木村さん（左）と奈須川さん（右）

2/7 防ごう消費者トラブル 消費者啓発パネル展

悪質な通販サイトや特殊詐欺など、消費者を狙ったトラブルに対して注意を促すため、消費者啓発パネル展が行われました。展示されたパネルでは、SNSアプリを悪用して個人情報を出そうとしたり、高級腕時計を格安で販売するなど、さまざまな偽の通販サイトによるトラブルが紹介され、来場した人たちは対策について理解を深めていました。



消費者トラブルについて解説したパネル展

2/15 学校教育の課題を学ぶ 洞爺湖町学力向上研修会

小 中学校教諭に学校教育の在り方を学んでもらう洞爺湖町学力向上研修会が行われました。講演会では、大妻女子大学家政学部の樺山敏郎教授が登壇。勉強につまづきやすくなる「9歳の壁・10歳の壁」を念頭に「子どもの幸せのために一杯教師の務めを果たしてほしいです」と強調しました。家庭学習に取り組ませる工夫などを話し合うグループワークも行われ、参加した教諭同士で活発に意見を交わしました。



講演する樺山教授

2/15 札幌市内で洞爺湖町をPR ラッピングタクシー始動

町 内で1月からタクシー事業を展開している互信ホールディングス（HD、札幌市）が、町の魅力をPRするラッピングタクシーの運行を札幌市内で開始しました。洞爺湖温泉地区で行われた出発式では、同HDの平島誉久社長が「札幌市民に洞爺湖町を知ってもらいたいです」とあいさつし、下道町長は「町の子育て施策などをPRしたいです」と期待を語りました。



出発式に出席した平島社長（右）と下道町長

2/21 まちの農業発展に貢献 石川さんに道産業貢献賞

とうや湖農業協同組合会長理事の石川修一さんが、北海道産業貢献賞を受賞しました。大原地区で農業を営む石川さんは、平成15年から13年間にわたって同農協の組合長を務め、クリーン農業の発展などに尽力しました。

下道町長に受賞を報告した石川さんは「農協は農家の経営を良くするための組織。十分なことができたか分かりませんが、皆さんの協力で続けることができました」と感謝していました。



北海道産業貢献賞を受賞した石川さん（右）

2/19 洞爺地区の菊地さん・京谷さん 指導農業士・農業士認定

洞爺地区の農家、菊地哲也さんが北海道指導農業士、京谷元樹さんが北海道農業士に認定されました。

菊地さんは馬鈴薯のクリーン栽培、京谷さんはセルリー生産の維持・普及など、本町農業の発展に尽力したことが認められました。

2人は札幌市内で行われた式典で認定証を授与され、担い手の育成・確保や地域農業振興への助言など、今後の活動に向けて決意を新たにしていました。



（左から）指導農業士に認定された菊地さんと農業士に認定された京谷さん

2/27 良書との出会いを後押し 洞爺湖RCが図書寄贈

洞爺湖ロータリークラブ（小田原香織会長）が、洞爺湖町教育委員会に図書121冊を寄贈しました。

贈られたのは、町内の全小中学校から希望を募った絵本、小説、古典など。社会貢献活動の一環として行われ、今回で9回目となります。

贈呈式では、小田原会長が「本を読んで豊かな感情や感覚を磨いてほしいです」と話し、渋川賢一教育長に目録を手渡ししました。



目録を手渡し小田原会長（左）

2/27 本の世界を自由に表現 読書紹介文・感想画表彰式

洞爺湖町教育委員会と洞爺湖ロータリークラブが行った読書紹介文・読書感想画募集事業の表彰式が行われました。

この事業は「秋の読書週間」に合わせて町内の小中学生を対象に行われ、紹介文35点、感想画93点の応募がありました。

役場本庁舎で開かれた表彰式には最優秀賞、優秀賞を受賞した児童・生徒が出席し、渋川賢一教育長から表彰状を、小田原香織会長から副賞を授与されました。



受賞した児童・生徒